



梅花新聞【香里】
第46号

題字 管長 石附周行 禪師

発行者 鬼生田俊英

発行所 曹洞宗務庁

企画編集 伝道部詠道課

掌中珠

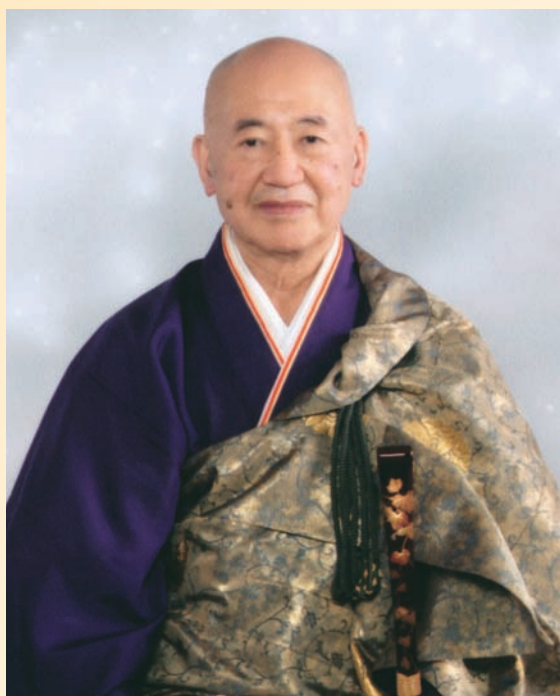
曹洞宗管長
大本山總持寺貫首

石附周行

輝かしい令和四年の新春を迎えられ、益々ご健勝でご活躍のこととお慶び申し上げます。今年は梅花流創立七十周年を迎える記念すべき年でもあり、講員みなさまのご発展を期待申し上げます。

講員のみなさまは梅花流詠讃歌を通しての「お誓い」の実践に精進され、今年こそはすばらしい年になるよう思いを寄せられていることと思います。

一昨年来の新型コロナ禍にあって、世界中が一変させられてしまいました。梅花流全国奉詠大会も二年続けて中止となつてしまい残



掌中
總持周行

念なことでありましたが、一人ひとりの奉詠が無くなつてしまつたわけではありません。明るいうかがさし込むことを期して、自分を輝かせるのは、この時こそ、と思われて精進されてはいかがでしょうか。

「掌中の珠」のお示しは手の中に持っている珠（真珠）を示し、最も大切にしているものに譬えられます。珠は般若の知恵と受けとめてもよいでしょう。高いところか遠いところにあるのではなく、誰もが掌中に収めてい——その真実を大切にすることを教えてください。しかし、それを知らずに、遥かなるところに求めてはいないでしょうか。

意気精進を重ねることによって、何かが機縁になつて、はつと気がつく「お誓い」の実践を期待いたします。

合掌

お誓い

私達は梅花流詠讃歌を通して、正しい信仰に生きます。
私達は梅花流詠讃歌を通して、仲よい生活をいたします。
私達は梅花流詠讃歌を通して、明るい世の中をつくりま

祝！梅花流創立70周年

昭和27年、高祖大師七百回大遠忌を契機に誕生した梅花流。戦後の混乱と苦難からの復興途上で、新たな宗教運動として歩みを始め、最盛期にはおよそ18万人もの講員を有する教化活動に成長した。曹洞宗務庁は70周年にあたり、功労者を表彰し栄誉を称える。

70歳の長寿を祝う古希のテーマカラーは紫。まさに梅花流の色であり、盛大にお祝いしたいところだ。しかし、新型コロナウィルス感染症の影響で記念奉讃大会は行われず、これまでにない静かな節目となつてしまった。予定している催事は表彰式のみで、5月17日に曹洞宗務庁（東京グラインドホテル）を会場に最小限の人数で執り行われる。表彰式の模様は、インターネットを通じてライブ

配信する予定。詳しくは、曹洞宗の公式ホームページ「曹洞禅ネット」で告知し、視聴を呼びかける。なお、表彰状及び賛助会員への記念品等は、表彰式終了後に順次発送される。

また、記念事業として、70年の歩みを振り返る記念誌を作製して賛助の梅花講に贈呈する。誕生があり、成長期があり、成熟期を経た歴史を綴り、その魅力を後世に伝える内容。特典もあるので、乞うご期待。

 YouTube

作法が確認できると好評

曹洞宗宗務庁は昨年6月、梅花流専門委員会監修による梅花流詠讃歌「作法編」の映像を制作した。各宗務所にDVDを配布したほか、YouTubeで無料配信している。インターネット環境があればいつでも視聴が可能だ。

梅花流の作法は難しい。所作を学べる映像がほしい。多くの梅花講員が長年思ってきたことである。慣れてしまえば何ということもないのだが、くり返し練習して体が覚えるまでがひと苦労。特別所作の細かいところなどは実は不確かだ、という方も少なくないはず。

この「作法編」は、そんな方々の期待に応えるため、とてもわかりやすい構成で作られている。一つひとつの作法を丁寧に見せているため、自分の所作が正しいかどうかを確認しながら改めて理解を深めることができる。



自宅で、自分で研鑽できる教材なので、めっきり法具を開かなくなっただけという日々に、ぜひとも視聴していただきたい。

スマートフォン・
タブレットはこ
ちらから



「作法編」タイトル一覧

- 1 法具の名称と基本作法
- 2 法具の解き方
- 3 法具の組み方
- 4 教典と撞木の作法
- 5 立行基本作法
- 6 紫雲特別所作
- 7 紫雲特別所作（立行）
- 8 歓喜特別所作
- 9 歓喜特別所作（立行）
- 10 道環特別所作
- 11 道環特別所作（立行）
- 12 曲を続ける場合の基本作法

[illegible]

特派師範の講習映像を配信

このほど、「作法編」に続き「詠唱指導編」と題して梅花流特派師範による講習映像の配信が始まった。詠唱の留意点や歌詞の解説を行う。

コロナ禍で練習会が行われず、指導を受ける機会がなくなつたという声を受けて企画されたもの。カメラに向かつて講習をするのは初めてで戸惑つたという特派師範もいたが、それぞれ意欲的に取り組んでいた。

視聴した講員から「実際に講習を受けているよう。特派の先生の指導をい
つでも受けられるのは大変ありがたい
し勉強になる。全曲揃えてほしい」と
いう感想が寄せられた。評価は上々の
ようだ。

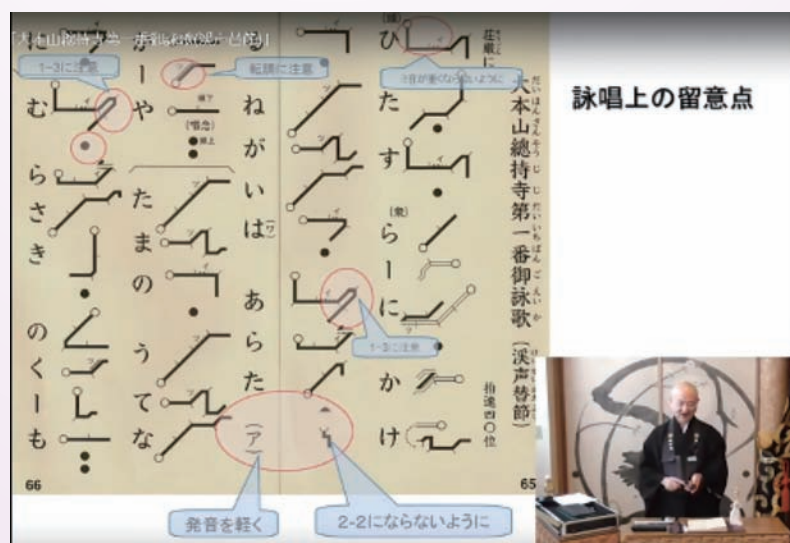
特派巡回が2年にわたって中止となり、指導をする機会もまた少なくなつた。特派師範の確かな詠唱技術と指導

功德のグルメ

なんだこのねばりは！？
ガゴメ昆布、ねばり勝ち！！
北海道の限られた海でしか採
れないそうだ。
野菜と和えたり、みそ汁に足し
たり、使い勝手がとてもいい。



免疫機能向上、高血圧・高脂
肪化抑制、抗がん作用…
美容保湿効果も。
7日食べると別人に！？
ぜひご賞味あれ。
願わくは此の功德を以って…
ごちそうさまでした。



大熊真龍特派師範による指導映像より

力を、多くの方に届けることができる
この取り組みは画期的。大いに利用し
て、各々の詠道に研ぎをかけていただ
きたい。

第20回 スマイルアゲイン

いよいよ再開！

自然災害の被災地支援を掲げ「歌声で捧げよう祈り届けようまごころ」をテーマに有志が開催している「スマイルアゲイン梅花のつどい」が令和3年11月16日、静岡市の法泉寺を会場にしっかりと感染対策を施して行われた。

感染状況が落ち着いてきたことで、漸く第20回の開催が実現した。会場の法泉寺は、梅花流が誕生した時から活躍した故大島賢龍正伝師範が住職をしていたお寺。未だコロナ渦中ではあるが、参加した76名が思いを馳せつつ、発祥の地静岡から妙なる歌声を響かせた。

マスクをしたままの詠唱で呼吸が大変だったと思うが、参加者からは「久々に皆で声を合わせてお唱えできて楽しい」という嬉しい声が聞かれた。長らく自粛していたため、同行同修の喜びもひとしおの様子。「大聖釈迦如来成道御和讃」など数曲の講習が行われ、最後に奉詠と読経で法要を営み被災地復興祈願と被災物故者供養をした。

参加協力費から昼食代を差し引いた金額他合計26万8千7百80円が

曹洞宗義援金に託された。これにより、道心利行のスマイルアゲイン梅花のつどいより寄託された累計は926万7千7百5円となった。尊い浄財は、被災地復興支援に役立てられる。



パーティーション越しに指導する北野良昭代表

うめちゃん



本来であれば、研修道場で寝食を共にして5日間びっしりと切磋琢磨する養成所だが、コロナ終息の気配が見られないことからオンライン開催へと踏み切った。様々な制約があり、参集した場合と同様の内容を実施することはできず、要点を絞ったカリキュラムを組んで成果に繋げた。

講師が一人ひとりをしっかり指導でき、コミュニケーションが取れるように少人数制としたことで、離れていても臨場感のある講習を行なえた。ただ、皆で一緒にお唱えすることができないため、一体感が生まれる場面は少なかった。

難点は他にも。作法やしぐさが見えづらく細かな指摘ができないことや、通信環境により時折音声途切れるなどの問題があった。反対

に、他人の目を気にせず堂々とお唱えできるといふ心理的効果や、録画して復習できるといふ技術的利点もあった。

通常の運営ではなかった分、所員63名が各自で努力して習得に励んできた。講師陣も、開設期間外に何度も特別講習会や補講を設け、技術の向上に寄与してくれた。その結果、過去の養成所と遜色なく、一人ひとりにしっかりと詠唱力が備わった。

「伝える喜び」をテーマに、足掛け4年に及んだ第23期。残すは、いよいよ2月の最終回のみ。異例尽くしの養成所となったが、新しい可能性に満ちた指導形態でもあった。この経験をしたことで、きつと頼もしい指導者、素晴らしい師範となることだろう。これからの成長と活躍を大いに期待したい。

梅花流師範養成所

オンラインで開設

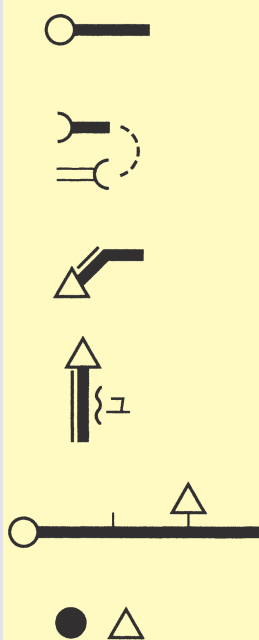
全6回の養成課程が組まれた第23期梅花流師範養成所は、第3回を終えた時点でコロナ禍により休止していた。昨年6月、所員はそれぞれのお寺よりパソコン等で参加し、およそ16ヶ月ぶりに活動を再開。同様に10月には第5回を行ない、修了に向けて研鑽を積んだ。

ば
い
か
く
い
ズ



さて、この曲は
何でしょう？

(衆)



ワンポイント
レッスン

地蔵菩薩御和讃



梅花流専門委員
宮崎県
観音寺住職
久我 経二

地蔵菩薩御和讃

いつくしみの心を以て
低音のイロに注意
(二・四行目同様)
ソ音にならないように
1・2・1を正確に
拍速四五位

(一) 頭
つゆしもしげきののみに

ほほえむすがたあたたく

みてらのものあるところ

えがおあかるくおわします

1・3のレ音で鳴鈴しないように
また、レ音がのびすぎないように
(捨鈴にかからない)
2・1・1
1・3

○最初に曲のタイトルを唱えて、メロディに入るというのは、詠讃歌独特のものです。そのために詠題と曲が遊離してはいけません。

○詠題を唱える時から、その曲の曲想に沿ったモードにならないといけないと考えます。

○強弱、いわゆるメリハリには基本はありませんが、個々の感性によっても当然変わってきます。また、同じ個所であっても歌詞に依っては変化するところもあります。定型に固執しすぎると、個性のない詠唱になる恐れもあります。

まずは、伸び伸びとお唱えしてみることが肝要です。

○詠唱に入る前に慈愛に満ちた優しいお地藏さまの顔を連想して、心をお地藏さまチャンネルに入れて唱えること。

出来れば、自らも微笑み顔で詠唱に入りたいものです。

○詠題最終音「ソ」に対して、四度下がりの詠頭の低音「ド」や、前音より半音上がりの短調階の「ラ」、高音の「ミ」などの微妙な音が随所に有りますので、先生のご指南を仰がれたり、お仲間同士で確認し合うのもいいでしょう。

○各行の起承転結の流れを意識しながら、味わいのあるお唱えを目指してください。

「南無地蔵大菩薩 南無地蔵大菩薩」聖号でいつもお唱えしているお地藏さま。とても身近で、親しみ深い仏さまです。大きな慈悲で私たちを包んでくださっています。

梅花妙楽

■SDGs。エスディージーズ。

持続可能な開発目標。国連が全会一致で採択した行動計画。世界を変えるための17のゴール。「誰ひとり取り残さない」がキーワード。描く未来は2030年。

■これに基づき、世界中で様々な取り組みが行われている。思いやりのある一つひとつの行為を積み重ね、みんなが健康的で幸せに暮らせる理想の社会を実現していく。〃難しそう〃と思うかもしれないが、人権・平和・環境を意識して生きていればその理念に沿う。

■正しい信仰に生き仲良い生活をし明るい社会を作る「お誓い」と同じだ。梅花流を学ぶと世界が良くなる。詠讃歌をお唱えすれば地球が喜ぶ。命の尊さや儚さを知り、神仏や自然に畏敬の念を抱いて丁寧に生きることが出来る。皆さんが普段からしていることはSDGsのひとつに他ならない。

■とは言え、改めて読むと気づくことも多い。例えばゴミの日の度に「うちはゴミが多いな」と感じているなら、17のゴールに関わる行動をもっとすべきだ。商品の選び方や買い方を変えたり、無駄にしない使い方をしたり、ちゃんとリサイクルしたり…塵(ゴミ)も積もれば山となる、善行は積んでもかさばらないぞ。

(詠道課)

訂正・お詫び

香里第45号に誤りがありました。謹んでお詫び申し上げます。左記の通り訂正いたします。

第1面上段 般若心経中
誤 照見五蘊皆空
正 照見五蘊皆空

●法具寄贈のお願い●

中古の梅花法具を収集し再利用しています。眠っている法具がありましたら、下記までご送付ください。

〒105-8544
東京都港区芝 2-5-2
伝道部詠道課「中古法具」係
03-3454-5416
※送料はご負担願います。

◆クイズの答えは
追弔御和讃

梅花流詠讃歌CD
「供養編
～御霊よ永久に安らわん～」

供養の場に相応しい御詠歌を収録したCDです

価格 1,000円+税

①追弔御和讃 ⑤報恩供養御和讃
②新亡精霊供養御和讃 ⑥盂蘭盆会御和讃
③無常御和讃 ⑦彼岸御和讃
④追善供養御和讃 ⑧坐禅御詠歌(浄心)

音楽CD

お求めはフリーダイヤル 0120-498-971
FAX 03-3768-3561 書洞宗ブックセンターまで
※送料・代引手数料別途